

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-135930  
(P2019-135930A)

(43) 公開日 令和1年8月22日(2019.8.22)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
<b>C 1 2 N 15/09 (2006.01)</b>	C 1 2 N 15/00 Z N A A	4 B 0 5 0
<b>A 6 1 K 31/7088 (2006.01)</b>	A 6 1 K 31/7088	4 B 0 6 5
<b>A 6 1 K 48/00 (2006.01)</b>	A 6 1 K 48/00	4 C 0 8 4
<b>A 6 1 P 31/22 (2006.01)</b>	A 6 1 P 31/22	4 C 0 8 6
<b>A 6 1 K 35/76 (2015.01)</b>	A 6 1 K 35/76	4 C 0 8 7
審査請求 未請求 請求項の数 12 O L (全 15 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号 特願2018-19505 (P2018-19505)  
(22) 出願日 平成30年2月6日(2018.2.6)

新規性喪失の例外適用申請有り

(71) 出願人 598015084  
学校法人福岡大学  
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号

(74) 代理人 100100158  
弁理士 鮫島 睦

(74) 代理人 100122297  
弁理士 西下 正石

(74) 代理人 100145104  
弁理士 膝館 祥治

(72) 発明者 田中 聖一  
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号  
学校法人福岡大学内

Fターム(参考) 4B050 CC10 LL01  
4B065 AA49X AA49Y AA95X AA95Y AB01  
BA01 CA27 CA44

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 αヘルペスウイルス感染を処置する方法及び医薬組成物

(57) 【要約】

【課題】 宿主に潜伏感染した ヘルペスウイルスの再活性化を抑制可能な方法を提供する。

【解決手段】 ヘルペスウイルスのUL41遺伝子に特異的な配列を有するガイドRNAをコードする塩基配列およびCas9ヌクレアーゼをコードする塩基配列を含む第一の遺伝子を、ウイルス宿主の細胞内に導入することと、該細胞内のUL41遺伝子を、該ガイドRNAの存在下に該Cas9ヌクレアーゼで切断することと、を含む、ヘルペスウイルス感染を処置する方法である。

【選択図】 図1

